



# オービックシーガルズ通信

## 日本一奪還へ向けてキックオフ

〜2022シーズンがスタート〜

習志野市茜浜を拠点に活動する社会人アメリカンフットボールのクラブチーム「オービックシーガルズ」は、ライスボウル（日本選手権）で8度の日本一を果たし、さらなる高みを目指しています。また地域の学校訪問などのホームタウン活動にも力を入れています。

昨年12月に開催されたセミアイナルで惜敗し2021シーズンを終えたオービックシーガルズ。Xリーグとしては、2022年1月3日のライスボウルをもって、シーズンが終了しました。2021シーズンもコロナウイルスの影響を受け、様々な制限の中でのリーグ開催となりましたが、2年ぶりにフルシーズン戦うことができ（2020シーズンは期間を短縮しての開催でした）、試合開催にあたりご尽力くださった皆さま、そして応援してくださった皆さまに感謝申し上げます。ありがとうございました。

チームは現在新メンバーを迎えるためのトライアウトを終え、新シーズンの集合日（3/26）に向けて各自が自主トレーニングに取り組んでいるところです。シーズンスタートから万全の状態での練習に臨めるよう、各自がウェイトトレーニングなどを中心に、パワーアップや苦手克服のためのトレーニングに励んでおり、今シーズンの日本一奪還に向けて既に動き出しています。今シーズンはコロナウイルスの脅威も収まり、穏やかな日常が戻ることを祈りながら、シーズンの通常開催ができること、そして、習志野市を中心と

したホームタウンの皆さんとの交流の機会を持つことができることを願っています。今シーズンもご支援・ご声援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

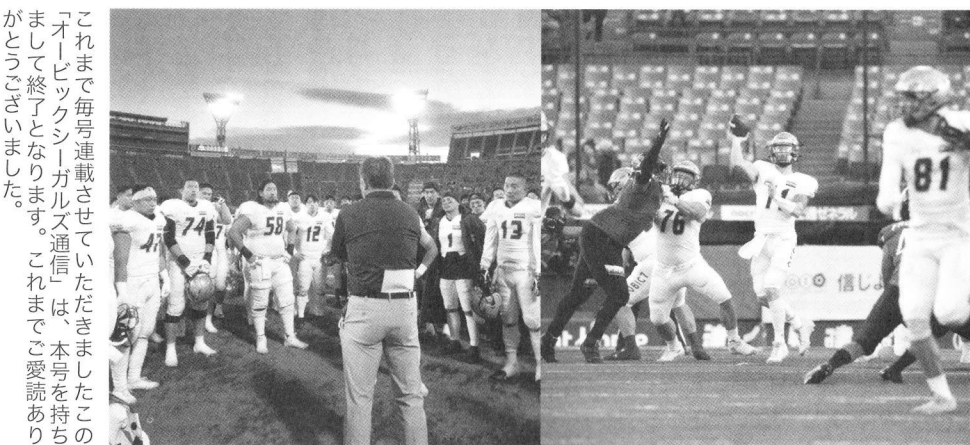
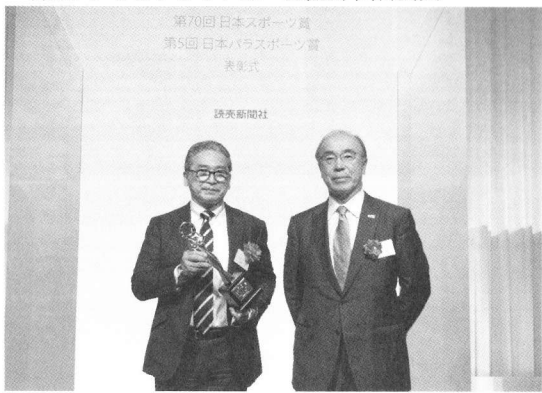
■70回日本スポーツ賞  
「競技団体別最優秀賞」を受賞  
1/19（水）、The Okura Tokyoにて第70回日本スポーツ賞・第5回日本パラスポーツ賞授賞式が開催され、オービックシーガルズが「競技団体別最優秀賞」を受賞しました。この賞は読売新聞社によって制定され、国内外で活躍した多くの輝かしい団体・アスリートが

表彰されています。昨年はコロナ禍の影響で選考が見送られたため、今回の対象期間は2019年11月〜2021年12月となっております。オービックシーガルズがコロナ禍における困難を乗り越え、2021年（2020シーズン）のライスボウルで史上最多8度目の優勝を達成したことが評価され選出されました。

■2022シーズンは2ブロック制に  
2022シーズンはオービックシーガルズが所属するX I S u p e r（トップリーグ）の編成が変わり、8チームから12チームのリーグとなります。

2021シーズンのレギュラーシーズン（リーグ戦）は総当たりの対戦でしたが、2022シーズンは12チームを2ブロックに分け5試合を戦い、ブロック上位4チームずつの8チームがポストシーズンに進みます。準々決勝、準決勝と勝ち抜くと、決勝・ライスボウル（1月3日）に進出となります。まだ詳しい日程は発表されていませんが、今シーズンも第一カッターフィールド（秋津サッカー場）での試合も予定されています。ぜひ参戦よろしくお願いたします。

▼トロフィーを受け取った並河代表（左）。右はアメリカンフットボール協会 国吉会長



これまで毎号連載させていただきましたこの「オービックシーガルズ通信」は、本号をもちまして終了となります。これまでご愛読ありがとうございました。